



低處高思

～自ら啓き 未来を拓く～

令和5年6月30日

発行 北垣内 博

勝負の世界を経験して…「熱願冷諦」

2021東京オリンピック、2022サッカーワールドカップ、2023ワールドベースボールクラシック、毎年のように開催されている世界のスポーツイベントが大きな話題となってきました。中学生にとっても全国大会につながる年に一度の最大の大会である中学校総合体育大会が行われています。現在、東信大会から県大会のステージへと進んでいます。

一人ひとりの選手の、一つ一つのチームの強靱な体力、優れた身体能力、責任感と協調性、連帯感から得られる感動は、オリンピック、W-cup、WBCも、中体連大会も同じです。予選会を含め東信大会では、中込中学校の生徒としてのプライドを持って最後の最後まで諦めない戦う姿がありました。しかし、どんなに皆さんが素晴らしいゲームをしても、勝負の世界ですから結果は、はっきりと必ず出されます。その結果に対して、どう向き合うかが、人としての勝負なのだと思います。

「熱願冷諦」勝ったら、静かに会場をあとにする。負けたら、堂々と会場をあとにする。全力を傾けて熱き願いに燃え、結果に対しては、冷静に諦める、その心を大切にしてください。



新たな仲間と団結を深める～1学年妙高宿泊学習～

1学年が5月末、学年目標「スマイル（進んで行動、周りとの協力、いつでも明るく、ルールを守ろう）」を掲げ、妙高青少年自然の家で宿泊学習を行いました。自然の中で行うアドベンチャープログラムを中心に活動し、積極的に自ら進んで活動することや集団で行動することのよさ、思いやりの大切さを感じ取ることができたことと思います。また、具体を通して、「協力するとは、どういうことか」を学ぶことができたのではないのでしょうか。今後の学校生活においても学びの成果が発揮されることを期待しています。



支えてくださる皆様の思いを大事に…

今月の4日はPTA作業、22日はコミュニティスクール推進委員会と中込中学校同窓会総会に参加させていただきました。保護者、地域、同窓生の皆様にお会いし、学校の様子や今後の連携活動についてお伝えさせていただく機会となりました。その中で、子どもを、本校を大切に思い、支えてくださっていくことを改めて感じることができました。ありがとうございました。

子どもは、未来からの授かりものであり、私たちは、その子どもを未来へ返さなければなりません。授かった子どもをどのように育て返すのか。それが、教育であり、教育が未来の社会を左右します。本校の子どもたちが、多様な価値観の社会、答えのない社会で生き抜くことができる人になれるよう精一杯、努めてまいります。今後ともよろしく願いいたします。